

町立富来病院経営強化プラン (令和 6 年度～令和 9 年度) 令和 6 年度実施状況報告書



令和 7 年 11 月 13 日



町立富来病院

目次

1. はじめに	1
2. 収支計画・数値目標の経過状況	2
(1) 収支計画及び経営指標に係る数値目標	2
(2) 医療機能等指標に係る数値目標	7
3. 事業運営の具体的な取組みの実施状況	9
4. 課題と令和7年度の取組み	11

1. はじめに

令和3年度に総務省が公表した「持続可能な地域医療体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、令和6年度から令和9年度を対象とした町立富来病院経営強化プラン（以下、経営強化プラン）を策定しました。

経営強化プランでは「役割・機能の最適化と連携の強化」「医師・看護師等の確保と働き方改革」「経営形態の見直し」「新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組」「施設・設備の最適化」「経営の効率化等」の6つの視点から検討を行い、中期的な病院改革の方向性を示しています。

経営強化プランを策定するにあたり、経営形態の見直しでは、指定管理者制度などの検討を行ってきましたが、現段階では具体的な見直しを見送り、病棟の機能再編や各種経営改善施策の実行に努めています。

なお、病院改革の方向性については、経営強化プランの点検・評価に合わせて、引き続き「町立富来病院改革検討委員会」において検討を行っていくこととしています。

令和7年度は経営強化プランの2年目にあたり、本報告書により経営強化プランに基づいた取組結果の点検・評価を行います。

経営強化プランの進捗状況のうち、収支計画、プランに掲げた成果指標（経営指標、医療機能等指標）は達成状況を示し、これらを達成するための取組みに対する達成度は下記の評点に基づき評価を行いました。

【取組みに対する評点】

区分	評価の内容
S	極めて順調に取り組まれている
A	順調に取り組まれている
B	取組みは確認されるが、より一層の取組みが期待される
C	取組みにあたり抜本的な改善が必要

2. 収支計画・数値目標の経過状況

（1）収支計画及び経営指標に係る数値目標

令和6年度における患者数は、令和6年能登半島地震で病棟が甚大な被害を受けたことから、使用できる病床数が限られたため、入院患者数が一日平均26.96人、延べ9,840人で、介護医療院の入所者数は、一日平均16.87人、延べ6,157人で、入院及び入所の合計人数が15,997人となり、前年度対比6,896人の減となりました。また、外来患者数は、一日平均140.16人、延べ37,842人、前年度対比1,461人の増となりました。

病院事業収益は、医業収益が712,418千円、介護収益が113,684千円、医業外収益が218,861千円で合計1,044,963千円となり、支出では、医業費用が1,252,144千円、医業外費用が48,275千円で合計1,300,419千円となりました。

この結果、経常収支額は、255,456千円の赤字決算となり、経常収支比率は80.36%となりました。

公立病院経営強化プランのガイドラインでは、地域医療構想を踏まえた役割を果たすことに加え、経営の効率化を図り、対象期間中の経常収支比率を100%以上にすることが求められています。

経営強化プランの1年目にあたる令和6年度は、経営の効率化を図っていく過程として経常収支比率の計画値を77.97%としていましたが、80.36%と目標値を上回りました。しかし、前年度実績の99.44%と比較すると19.08ポイント減少する結果となりました。

【収支計画・経営指標の数値計画と状況一覧】

(単位:千円、%)

勘定科目		令和5年度		令和6年度		計画の差 ③-②	計画対比	前年の差 ③-①	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		経営指標	実績値①	計画値②	実績値③				計画値	計画値	計画値	計画値	計画値	計画値
収益的	1 医業収益 a	879,565	725,700	712,418	▲ 13,282	98.17%	▲ 167,147	975,684	1,022,346	1,023,769				
	(1) 入院収益	524,188	369,176	365,666	▲ 3,510	99.05%	▲ 158,522	623,069	669,731	671,567				
	(2) 外来収益	282,345	286,049	275,156	▲ 10,893	96.19%	▲ 7,189	283,115	283,115	284,202				
	(3) その他	73,032	70,475	71,596	1,121	101.59%	▲ 1,436	69,500	69,500	68,000				
	うち他会計負担金 b	36,294	36,294	36,294	0	100.00%	0	36,294	36,294	36,294				
	2 介護収益 c	163,394	116,508	113,683	▲ 2,825	97.58%	▲ 49,711	213,722	213,722	214,404				
	(1) 介護医療院介護収益	146,532	95,659	98,080	2,421	102.53%	▲ 48,452	193,027	193,027	193,555				
	(2) 利用者等利用料収益	16,856	20,849	15,594	▲ 5,255	74.79%	▲ 1,262	20,685	20,685	20,839				
	(3) その他	6	0	9	9			3	10	10				
	3 医業外収益	234,825	219,529	218,862	▲ 667	99.70%	▲ 15,963	197,292	251,276	253,126				
収支	(1) 負担金・補助金	175,659	154,955	154,368	▲ 587	99.62%	▲ 21,291	125,251	171,130	168,380				
	(2) 長期前受金戻入	54,915	60,215	60,353	138	100.23%	5,438	67,591	75,696	80,296				
	(3) その他	4,251	4,359	4,141	▲ 218	95.00%	▲ 110	4,450	4,450	4,450				
	経常収益 (A)	1,277,784	1,061,737	1,044,963	▲ 16,774	98.42%	▲ 232,821	1,386,698	1,487,344	1,491,299				
	1 医業費用 d	1,223,571	1,301,387	1,244,446	▲ 56,941	95.62%	20,875	1,354,052	1,366,296	1,385,737				
	(1) 給与費 e	617,073	669,436	654,951	▲ 14,485	97.84%	37,878	670,000	670,000	670,000				
	(2) 材料費 f	130,753	149,760	104,273	▲ 45,487	69.63%	▲ 26,480	162,000	165,000	165,000				
	(3) 経費	369,385	372,000	374,779	2,779	100.75%	5,394	380,000	381,000	381,000				
	(4) 減価償却費	100,569	106,130	106,130	0	100.00%	5,561	118,484	140,046	159,137				
	(5) その他	5,791	4,061	4,313	252	106.21%	▲ 1,478	23,568	10,250	10,600				
収益的	2 医業外費用	61,442	60,297	55,973	▲ 4,324	92.83%	▲ 5,469	61,174	60,298	59,748				
	(1) 支払利息	15,626	13,022	13,022	0	100.00%	▲ 2,604	12,527	9,281	6,603				
	(2) その他	45,816	47,275	42,951	▲ 4,324	90.85%	▲ 2,865	48,647	51,017	53,145				
	経常費用 (B)	1,285,013	1,361,684	1,300,419	▲ 61,265	95.50%	15,406	1,415,226	1,426,594	1,445,485				
	経常損益 (A) - (B) (C)	▲ 7,229	▲ 299,947	▲ 255,456	44,491	85.17%	▲ 248,227	▲ 28,528	60,750	45,814				
	1 特別利益 (D)	52,586	5,426	6,110	684	112.61%	▲ 46,476	6,036	3,222	2,271				
	2 特別損失 (E)	37,389	13,296	15,496	2,200	116.55%	▲ 21,893	4,680	0	0				
	特別損益 (D) - (E) (F)	15,197	▲ 7,870	▲ 9,386	▲ 1,516	119.26%	▲ 24,583	1,356	3,222	2,271				
	純損益 (C) + (F)	7,968	▲ 307,817	▲ 264,842	42,975	86.04%	▲ 272,810	▲ 27,172	63,972	48,085				
	利益剰余金	587,461	248,244	291,135	42,891	117.28%	▲ 296,326	213,472	237,444	274,529				
資本的	1 企業債	98,100	81,700	86,400	4,700	105.75%	▲ 11,700	385,600	179,800	147,500				
	2 負担金・補助金	130,005	166,025	143,812	▲ 22,213	86.62%	13,807	248,243	142,664	192,766				
	3 その他	757	749	6,334	5,585	845.66%	5,577	749	749	749				
	収入計 (G)	228,862	248,474	236,546	▲ 11,928	95.20%	7,684	634,592	323,213	341,015				
	1 建設改良費	103,795	131,979	207,978	75,999	157.58%	104,183	494,416	188,100	195,800				
	2 企業債償還金	208,627	229,237	229,237	0	100.00%	20,610	227,419	230,890	254,365				
	3 その他	4,550	1,560	1,560	0	100.00%	▲ 2,990	1,560	1,560	1,560				
	支出計 (H)	316,972	362,776	438,775	75,999	120.95%	121,803	723,395	420,550	451,725				
	差引不足額 (G) - (H)	88,110	114,302	202,229	87,927	176.93%	114,119	88,803	97,337	110,710				
	経常収支比率 (A)/(B)×100	99.44	77.97	80.36	2.38	103.06%	▲ 19.08	97.98	104.26	103.17				
修正	医業収支比率 (a+c)/d×100	85.24	64.72	66.38	1.67	102.58%	▲ 18.86	87.84	90.47	89.35				
	修正医業収支比率 (a+c-b)/d×100	82.27	61.93	63.47	1.54	102.49%	▲ 18.81	85.16	87.81	86.73				
	給与費対医業収益比率 e/(a+c)×100	59.17	79.49	79.28	▲ 0.20	99.74%	20.12	56.33	54.20	54.11				
	材料費対医業収益比率 f/(a+c)×100	12.54	17.78	12.62	▲ 5.16	70.98%	0.09	13.62	13.35	13.33				

一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

区分	年度		5年度 (実績)	6年度	7年度	8年度	9年度
	収益的	収支					
収益的	187,406	187,310	161,446	206,324	204,575		
資本的	127,255	138,059	137,658	139,914	150,016		
合計	314,661	325,369	299,104	346,238	354,591		

経営指標に係る数値目標（計画値）に対する令和 6 年度実績は次のとおりです。

経営指標 1	経常収支比率	計画値	77. 97%
		実績値	80. 36%
<ul style="list-style-type: none"> 経常収支比率は計画値 77. 97%に対し実績値 80. 36%となり、計画値を上回り目標を達成しました。 経常収益は 1, 044, 963 千円で計画値を 16, 774 千円下回りました。 経常費用では 1, 300, 419 千円で計画値より 61, 265 千円の削減となりました。 経常収支は△255, 456 千円となり、計画値より赤字幅が 44, 491 千円の減となりましたが、前年度実績△7, 229 千円に対しては、△248, 227 千円の大幅な赤字増となりました。 経常収益は令和 6 年能登半島地震で病棟が甚大な被害を受けたことから、使用できる病床数が限られたため、入院患者数・施設利用者数が減少したことに伴い、前年度実績より 232, 821 千円減少しました。 			

経営指標 2	医業収支比率	計画値	64. 72%
		実績値	66. 38%
<ul style="list-style-type: none"> 医業収支比率は計画値 64. 72%に対し実績値 66. 38%となり、計画値を上回り目標を達成しました。 医業収益に介護収益を加えた収益は、826, 101 千円となり、計画値を 16, 107 千円下回りました。 医業費用は 1, 244, 446 千円で計画値より 56, 941 千円の削減となりました。 医業収支は△418, 345 千円となり、計画値より 40, 834 千円の減となりましたが、前年度実績△180, 612 千円に対しては△231, 733 千円の大幅な増となりました。 医業・介護収益は令和 6 年能登半島地震で病棟が甚大な被害を受けたことから、使用できる病床数が限られたため、入院患者数・施設利用者数が減少したことに伴い、前年度実績より 216, 858 千円減少しました。 			

経営指標 3	給与費対医業収益比率	計画値	79. 49%
		実績値	79. 28%
<ul style="list-style-type: none"> 医業・介護収益に対する給与費比率は 79. 28%となり、計画値 79. 49%より下回り、目標を達成しました。 人事院勧告による職員月額給与の増加を背景として給与費が前年度実績より 37, 878 千円増加し、給与費比率は 20. 11 ポイント上昇しました。 			

経営指標 4	材料費対医業収益比率	計画値	17.78%
		実績値	12.62%
<ul style="list-style-type: none"> 医業・介護収益に対する材料費比率は 12.6% と計画値 17.78% より 5.18 ポイント下回り、目標を達成しました。 令和 6 年能登半島地震で病棟が甚大な被害を受けたことから、使用できる病床数が限られたため、入院患者数・施設利用者数が減少したことに伴い、材料費が減少しました。 			

経営指標 5	病床利用率	計画値	44.83%
		実績値	46.62%
<ul style="list-style-type: none"> 一般病床の利用率は 44.93%、介護医療院の施設利用率は 49.61%、両施設を合わせた病床利用率は 46.62% となり、計画値の 44.83% を上回り、目標を達成しました。 			

経営指標 6	入院患者 1 人 1 日当たり単価	計画値	37,600 円
		実績値	37,161 円
<ul style="list-style-type: none"> 入院患者 1 人 1 日当たり単価は 37,161 円と計画値 37,600 円を下回り、目標を達成できませんでした。 2024 年 4 月施行の令和 6 年度診療報酬改定が影響し、入院基本料の算定要件が厳しくなったことが大きな要因となっています。 			

経営指標 7	1 日当たり外来患者数	計画値	139.4 人
		実績値	140.2 人
<ul style="list-style-type: none"> 1 日当たり外来患者数は 140.16 人となり、計画値の 139.4 人を上回り、目標を達成しました。 前年度実績は 134.74 人であり 5.42 人増加しました。 			

経営指標 8	外来患者 1 人 1 日当たり単価	計画値	7,600 円
		実績値	7,271 円
<ul style="list-style-type: none"> 外来患者 1 人 1 日当たり単価は 7,271 円と計画値 7,600 円を下回り、目標を達成できませんでした。 全体の外来患者数は増加しましたが、診療報酬改定や医療提供体制の変化が主な要因と考えられます。 			

経営指標 9	医師数	計画値	5 人
		実績値	5 人
<ul style="list-style-type: none"> 令和 6 年度から病院長が新たに就任したことにより、計画値と同数となり目標を達成することができました。 			

経営指標 10	看護師数	計画値	52 人
		実績値	49 人
<ul style="list-style-type: none"> 看護師の退職により前年度実績から 3 名減少したため計画値を下回り目標を達成できませんでした。 前年度に定年職員、会計年度任用職員を含め 6 名が退職し、中途採用が 1 名、今年度は 3 名（うち 1 名が修学資金貸与者、2 名が会計年度任用職員）の採用があり、1 名が退職しました。 			

経営指標 11	看護補助者数	計画値	15 人
		実績値	13 人
<ul style="list-style-type: none"> 看護補助者の退職により前年度実績から 1 名減少したため計画値を下回り目標を達成できませんでした。 			

経営指標 12	薬剤師数	計画値	3 人
		実績値	3 人
<ul style="list-style-type: none"> 正規職員 2 名、会計年度職員 1 名の合計 3 名で、計画値と同数であり目標を達成しました。 薬剤師については、石川県全体でも不足しており、採用が困難になっています。 			

(2) 医療機能等指標に係る数値目標

医療体制の整備、取組みにおける数値目標を定め、各項目に対し活動を行っています。

医療機能等指標に係る数値目標の令和6年度実施結果は次のとおりです。

医療機能指標 1	救急患者数	目標値	850 人
		実績値	1,142 人
<ul style="list-style-type: none">救急患者数の年間目標値 850 人に対し実績値は 1,142 人となり、目標値を達成しました。前年度実績は 820 人で 322 人増となりました。救急車による搬送は原則全件受入れ、常勤医不在の診療科においても診療内容の標準化により積極的に救急患者の受入れを行いました。			

医療機能指標 2	訪問診察患者数	目標値	710 人
		実績値	584 人
<ul style="list-style-type: none">今年度は、積極的に訪問診療を実施しましたが、年間目標値 710 人に対し実績値は 584 人となり、目標値を達成できませんでした。前年実績は 700 人で 116 人減となりました。			

医療機能指標 3	訪問リハビリ患者数	目標値	2,150 人
		実績値	1,601 人
<ul style="list-style-type: none">今年度は、積極的に訪問リハビリを実施していましたが、令和6年能登半島地震の影響もあり、年間目標値 2,150 人に対し実績値は 1,601 人となり、目標を達成できませんでした。			

医療機能指標 4	重症度、医療・看護必要度 (急性期)	目標値	15.0%
		実績値	18.6%
<ul style="list-style-type: none">目標値 15.0%に対し実績値は 18.6%となり、目標を達成しました。今後も適切な診療資源の配分や看護配置の最適化に努めています。			

医療機能指標 5	在宅復帰率	目標値	96.0%
		実績値	95.4%
<ul style="list-style-type: none">在宅に復帰する患者割合は、目標値 96.0%に対し実績値は 95.4%となり、目標を達成できませんでした。医師・看護師・リハビリ等が連携し、早期の在宅復帰に努めています。			

医療機能指標 6	転院患者数	目標値	65 人
		実績値	21 人
・ 令和 6 年能登半島地震の影響により、使用可能な病棟数が確保できず、目標値 65 人に対し実績値は 21 人となり、目標を達成できませんでした。			

【医療機能等指標の数値目標と状況一覧】

指標	令和5 年度	令和6年度		目標値 との 比較	令和7 年度	令和8 年度	令和6 年度 評価	達成率
	実績	目標値	実績		目標値	目標値		
救急患者数 (人)	820	850	1, 142	292	850	850	S	134. 4%
訪問診察患者数 (人)	700	710	584	△ 126	720	720	B	82. 3%
訪問リハビリ患者数 (人)	2, 140	2, 150	1, 601	△ 549	2, 150	2, 150	B	74. 5%
重症度、医療・看護必要数 (%)	22. 0	15. 0	18. 6	3. 6	15. 0	15. 0	S	124. 0%
在宅復帰率 (%)	94. 8	96. 0	95. 4	△ 0. 6	96. 0	96. 0	A	99. 4%
転院患者数 (人)	60	65	21	△ 44	70	70	B	32. 3%

3. 事業運営の具体的な取組みの実施状況

収支計画・数値目標達成に向けた具体的な取組み状況は次のとおりです。

達成目標	収入増加・確保対策	評価	B
実施内容	<ul style="list-style-type: none">・ 診療情報管理士による請求の適正化及び新規施設基準の届出を行う (入院ベースアップ評価料) (外来・在宅ベースアップ評価料) (医療DX推進体制整備加算)・ 在宅医療を推進し、介護サービスを充実・ 地域連携室による効率的な入院計画		
課題及び 今後の取組	<ul style="list-style-type: none">・ 施設基準に適合した施設・設備の整備、人員配置の見直しなどを推進していきます。・ 訪問診察や訪問リハビリを積極的に行い、介護サービスの充実に努めています。・ 地域連携室が中心となって院内のベッドコントロールを行うことにより、効率的に入院できる体制を確立し、病院利用率の向上を図り、収支の黒字化に向けて努めています。		

達成目標	経費削減・抑制対策	評価	B
実施内容	<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品、診療材料の適切な在庫管理・ 後発医薬品の採用・使用を促進・ 収益的事業と資本的事業のバランスを考えながら計画的に設備投資を行う		
課題及び 今後の取組	<ul style="list-style-type: none">・ 地震により破損した器械備品等の購入に伴い、多額の費用が必要となりました。・ 施設設備への投資は、今後の病院運営の方向性に合わせて整備を進め、経費全般の削減に取り組んでいきます。		

達成目標	患者の確保と病院の啓発活動	評価	A
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震の影響も踏まえ、人口減少・超高齢化社会に対応した病床機能の見直し 		
課題及び今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般病床 60 床のうち、急性期病床を 30 床から 20 床、地域包括ケア病床を 30 床から 40 床に変更することにより、効率的に入院できる体制を整えていきます。 ・ 人口減少とともに外来患者が減少傾向にあり、患者の確保が重要課題となっています。引き続き、地域の医療・介護施設との連携強化、地域住民に対する情報提供を行い、病院の啓発活動を通して広く病院の周知を図り、外来患者の確保を行っていきます。 		

達成目標	医療従事者の確保	評価	A
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震災による看護師等医療従事者の離職者なし ・ 令和 6 年度看護師等修学資金貸与者 1 名 		
課題及び今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院機能の維持、充実ために必要な医師、看護師、看護補助者、薬剤師の採用が困難となっています。大学など関係機関との連携を深め、積極的な採用活動を行っていきます。 ・ 令和 7 年度は看護師等修学資金貸与者が 4 名となり、安定的な看護人材確保ための施策を推進していきます。 		

達成目標	機能分化・連携強化	評価	B
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震の影響により、後方支援病院としての受入れが不可 		
課題及び今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院建物の災害復旧工事により、病床機能が再開したことから今後、他の医療機関等と継続的に連携し、紹介受診重点医療機関である公立能登総合病院や恵寿総合病院に紹介を行い、後方支援病院として当院がその後の回復期の受入れを担う等、医療情報等の連携を通じて医療の質の向上を図ります。 		

4. 課題と令和7年度の取組み

令和6年能登半島地震の影響に伴い、使用可能な入院病床の減少から令和6年度は大幅な収入減となりました。

また、人件費のベースアップや薬品、診療材料の物価高騰などにより支出は増加し、この結果、経常収支は赤字決算となりました。

今後は、地震で脆弱化した病院機能の早期復旧を図るとともに、復興に向け一層の医療提供体制の充実、経営基盤の強化に取り組み、収支の黒字化に向けて努めていきます。

また、患者様への接遇の改善や感染予防対策、令和6年度から策定中のB C P等、安全管理水準を向上し、住民の安心した生活維持のため、病院の基本理念である「親切・信頼・快適」を実践しながら地域における医療・介護の提供に努めています。